

2023年4月25日発行 第539号

2023

4

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

～ 2023年指針 ～

守 破 理

富士情報

[創業50周年特集]

「究極の情報サービス」の実現を目指して
取締役社長 渡辺直企

[お祝いメッセージ]

- ・ 損害保険ジャパン(株)取締役社長 白川儀一様
- ・ 山梨中央銀行 代表取締役頭取 関 光良様
- ・ 2023年度入社式



(3376)

「究極の情報サービス」の実現を目指して

—創業50周年を迎えて—

取締役社長 渡辺直企

情報は1973年4月21日山梨県富士吉田市にデータ入力業務を受託する富士計算センターとして創業しました。今年で50年になります。50年の間に、システム開発事業、保険代理店設立、健康診断業務アウトソーシング事業など少しずつですが着実に変化し健全な経営を続けて来られました。良いお客様に恵まれ、多くの社員のみなさんに協力いただいた結果だと思います。50年という歴史に恥じぬよう、これからも良い仕事を通じてお客様・社会に喜んでいただけるような組織・事業を作っていきたいと考えています。

当社は創業以来一貫して「情報」に携わってきました。創業当時、入力したデータはパンチカードにパンチ(穿孔)して納品していたようです。パンチカードは18.325cm x 8.255cmの厚紙で、1枚のカードには英数字を始め128種類の文字を行番号含めて80桁分(80バイト)記録することが可能です。今では1TBのmicroSDが1万円程度で入手が可能です。1TBをパンチカードに記録すると125億枚となります。56枚で1cmの厚さですので、1TB分積み上げると2,232kmにもなります。情報の記録だけでなく、処理するCPUの能力、情報をつなぐ通信の能力など「情報」に関する技術は日々進化しています。これらの技術を使いこなし、最近ではWeb3.0、AI、ChatGPTなど新しい価値が生まれています。このような環境では、付加価値を維持するのも容易ではなく、変化に対応しないような守りの現状維持の態度では停滞、衰退につながってしまいます。

ドイツの名宰相ビスマルクは「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と言ったそうです。運良く成功出来たとしても、運に恵まれただけの可能性もあります。運に依存するだけでは非常に危険です。経験は経験として歴史(他人の経験や一般化された知識、科学的な知識)と比較し、経験を正しく理解し、自分の立ち位置を正確に知ることにより正確な方向がわかり、課題も適切に明確化することができます。

富士情報の50年の歴史(経験)は非常に貴重です。しかし、一企業の経験でしかありません。厳しい変化の時代を生き抜くためには我々の経験だけではなく歴史、つまり取り巻く環境の知恵を理解し活用していく必要があると考えています。ただし、節操なく世間で流行していることを何でも取り入れるのでは単に流されているだけで、その他大勢の一つになってしまいます。お客様、社会にとっての我々の立ち位置を理解し、富士情報にとって必要な知恵を選択し、活用していく必要があります。

当社は創業以来「正確・信頼」を社訓として情報に関わってきました。これからも時代・お客様に最適な「正確・信頼」を提供していくことで、お客様の暗黙知を最も理解する立場として「究極の情報サービス」の実現を目指し、「情報」のプロフェッショナルとして富士情報でなければ提供できないサービスの一つでも多く創っていききたいと考えています。

創業記念日 社長挨拶

創業50周年を迎えた4月21日には社長が吉田事業所、損保ジャパン事務本部、八王子の東京本社を移動し、さらに3拠点以外に勤務する社員向けにはWEB会議を活用して、それぞれの拠点で創業以来の社訓である「正確・信頼」の提供と「究極の情報サービス」の実現を目指し続ける熱い決意を語りかけました。

今年はコロナ禍でもあり、全社員を一堂に集めず、各拠点ごとの開催となりました。



さらなる発展を期待して

損害保険ジャパン株式会社

取締役社長 白川 儀一

株式会社富士情報様の創業50周年ならびに、株式会社丸久様の創業45周年をそれぞれ迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

富士情報様は、1973年4月に富士計算センター様として設立され、創業当初には情報サービスの基礎であるデータエントリーを開始されたとお聞きしております。その後、情報化社会の進展とともに、時代を先取りする卓越した先見性と実行力によって、業容を順次拡大され、見事に業績を伸ばしてこられました。そのご努力とそれを支えた業務への真摯な取り組みに対しまして、深く敬意を表する次第であります。

富士情報様には創業以来50年間、弊社の最も重要な業務のひとつであるお客様の保険契約管理をデータエントリーで支えていただいています。また、システム開発分野でも高い技術力と豊富な経験をもとに高品質かつ高効率なシステムの実現に多大なる貢献していただいています。丸久様には、創業以来45年間山梨県内のトップ代理店

として、お客様に弊社の商品をお届けいただき、地域からの信頼を得ることで確固たる地盤を築いていただいています。特に昨今は弊社最高位の代理店表彰制度 MVP に連続入賞されており、お客様への豊富な提案力とたゆまぬ努力の賜物によるものと、誠にありがたく深く感謝の意を表したいと思います。

現在、気候変動による自然災害の激甚化、少子高齢化による人口構造の変化、新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの変化など社会は大きく変化しています。弊社も社会に存在する様々なリスクからお客様をお守りする新たな商品、また、デジタルを活用した利便性の高いサービスの提供などを行っていきます。ぜひ、今後とも弊社のよきパートナーとしてご協力いただきますよう、引き続きよろしく願い申し上げます。

最後に株式会社富士情報様と株式会社丸久様のご両社の今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。お祝いのメッセージとさせていただきます。



50周年記念号発刊に際して

この度は、株式会社富士情報さまの創立50周年を迎えられたこと、また、株式会社丸久さまの創立45周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

御社は、故渡辺努さまが1973年4月に株式会社富士計算センターを創業後、1993年4月に株式会社富士情報に社名変更し今日に至っておりますが、50年に亘り、経営理念に掲げる「正確・信頼」、「究極の情報サービスの提供」を实践され、山梨県内を代表する企業として確固たる地位を確立されております。

ソフトウェア開発を主軸とし、情報化時代の先駆者として走り続けてきた御社グループですが、その間には、高度成長期、バブル経済の崩壊、リーマンショック、コロナウイルス感染拡大など激震ともいえる経済環境の変化がありました。特に2021年に創業者である故渡辺努さまがご逝去され、深い悲しみに包まれたことと存じます。その中で渡辺直企社長をはじめ、全役職員の皆さまのひとかたならぬ、ご労苦、ご努力により今日を迎えられたこと、まさに「守破離」の精神を實現された賜物であり、心から敬意を表する次第であり

山梨中央銀行

代表取締役頭取 関 光 良

ます。

さて、弊行グループでは、創業150年となる2027年を見据えた長期ビジョン「Value Creation Bank」を掲げ、パーパスを「山梨から豊かな未来をきりひらく」として全役職員が一丸となり、あらゆるステークホルダーの皆さまのご期待に応える金融グループを目指しております。

昨年来、天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会ではヴァンフォーレ甲府が初めてビッグタイトルを獲得、第95回記念選抜高等学校野球大会では山梨県代表として山梨学院高校が初優勝と、山梨県にとって明るいニュースが続いており、今まさに日本全国に山梨の風が吹いているのだと感じます。このチャンスを御社グループと共有し、山梨県の発展に積極果敢に挑戦していきたいと考えております。

結びに、これまでの御社グループ、関係者の皆さまの多大なるご尽力に改めて敬意を表しますと共に、株式会社富士情報さま並びに株式会社丸久さまの今後の更なるご発展と役職員の皆様方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

2023年度・入社式

2023年度の入社式が4人の新入社員を迎えて、4月3日に東京本社会議室で開催されました。今年も昨年同様に新型コロナウイルス感染防止対策のため、東京本社の役員だけが出席してシンプルに行われました。

最初に社長から新入社員一人ひとりに辞令が交付され、引き続き社長訓示があり、最後に新入社員を代表して渡邊海人さんが決意表明を行いました。

